



# 環境の取り組み

## コープこうべの環境チャレンジ目標

# エコチャレ2030

(2018年策定)

コープこうべでは、2030年に向けた環境チャレンジ目標を策定し、取り組みを推進しています。

2050年度には、**90%削減**を目指す！

チャレンジ

1

事業活動における  
**CO<sub>2</sub>排出量を半減!** (2013年度比)

### 重点施策

- 設備更新/車両更新
- 省エネチューニング
- 太陽光自家発電・自家消費
- 電気自動車・トラックの導入
- コープでんぎへの切替



チャレンジ

2

事業活動における  
**食品廃棄物を半減!** (2015年度比)

### 重点施策

- 店舗廃棄重量削減
- フードバンク等への食品提供拡大
- 食品リサイクル率向上



チャレンジ

3

環境に配慮したエシカルな商品やサービスの開発・供給推進!

### 重点施策

- 環境配慮型のエシカルな商品・サービスの開発・供給推進
- 地産地消の推進
- 容器包装の削減



チャレンジ

4

組合員とともに  
**エシカル消費を拡大!**

### 重点施策

- エシカルな商品、エシカルな暮らしのあり方に関する学習・広報の推進
- 組合員とともにエシカル消費を拡大



## 環境の取り組み

<https://eco.coop-kobe.net>

コープこうべの環境活動

検索



データ集

<https://www.kobe.coop.or.jp/ecoreport/index.html>

## 地球温暖化防止と再生可能エ

地球温暖化、原発事故後のエネルギー問題に対して、コープこうべのエネルギー政策に沿って、省エネや再生可能エネルギー(以下「再エネ」)の普及・拡大に取り組みました。

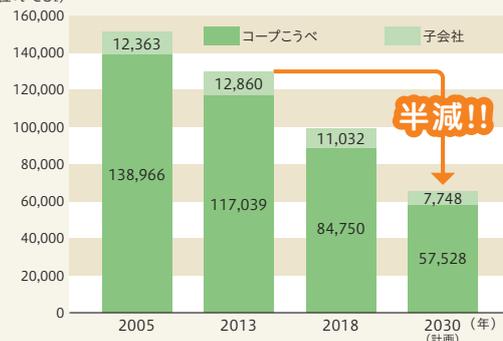
へらす

### 長期的なCO<sub>2</sub>削減計画

環境に配慮した事業活動を通じて組合員のくらしを守る生協として、2030年までにCO<sub>2</sub>排出量を半減(2013年度比)させる計画を策定し、取り組みをさらに推進しています。

#### 2030年までのCO<sub>2</sub>削減計画

(単位:t-CO<sub>2</sub>)



つくる

### コープこうべの太陽光発電と自家発電・自家消費を拡大

コープこうべグループでは、再エネの普及のために兵庫県と大阪府の30カ所で太陽光発電をしています。

また事業所の屋根に設置した太陽光パネルで発電された電気を売電せず、事業所で使用する自家発電・自家消費の取り組みを、コープ西明石、協同購入センター淡路でも開始しました。

※2020年4月現在、コープこうべグループが運営する太陽光発電の年間発電量は約860万kWh(一般家庭の年間電力消費量換算で約2400軒分)。



協同購入センター淡路

# エネルギー



## コープこうべのエネルギー政策

### 3つの方針

#### 1 へらす

くらしや事業で  
省エネルギーを進めます

①事業における省エネの推進  
②くらしにおける省エネの推進

#### 2 つくる

再生可能エネルギーを  
利用した発電事業を進めます

①コープこうべが進める  
発電事業の推進  
②地域や組合員が進める  
発電事業の推進

#### 3 つかって ひろげる

再生可能エネルギーによる  
電力供給事業を進めます

①コープこうべの施設で  
再エネを使用する事業の推進  
②組合員への  
電力小売事業の推進

NEW

## エコファームで ソーラーシェアリングを開始

2020年1月から、エコファーム（→5ページ参照）でコープこうべ初の取り組みとなるソーラーシェアリング※3を開始しました。発電した電気は「コープでんき」の電源として活用。地域でつくられた電気を地域でつかう“電気の地産地消”の取り組みをさらに推進していきます。

※3 ソーラーシェアリングとは、農地の上に太陽光パネルを設置して太陽のエネルギーを分け合うことによって、農業と発電事業を両立させることです。



ソーラーシェアリング(エコファーム)

つかってひろげる

## 組合員への電力小売事業 (コープでんき)

再エネや、「より環境負荷の小さい電力を選びたい」という組合員の声に応え、2017年4月より組合員向けの電力小売事業「コープでんき」を開始しました。「コンセンツの向こう側」のことを考えて電源構成にこだわり、FIT電気(再エネ)約30%、天然ガス70%の電気をお届けしています。

コープでんきの  
調達電力量(kWh)計画値  
(2020年4月1日から  
2021年3月31日まで)

※1、※2  
FIT電気  
(再生可能  
エネルギー)

30%

天然ガス  
70%



### 地産地消の電源を拡大!

NEW



(株)日本海水赤穂工場  
(バイオマス発電・兵庫県赤穂市)

NEW



一般社団法人西谷ソーラーシェアリング協会  
(太陽光発電所・兵庫県宝塚市)

NEW

### 太陽光余剰電力の買取サービスを開始

2019年11月から、再生可能エネルギー固定価格買取制度(FIT)の買取期間(10年間)が終了する組合員の家庭を対象に、住宅用太陽光発電の余剰電力買取サービスを開始しました。

地域でつくられた電気を「コープでんき」の電源として地域でつかう“電気の地産地消”をさらに推進していきます。



※1 FIT電気とは…再生可能エネルギーを普及させる制度として、電気の利用者全体で補助を行う「固定価格買取制度(FIT制度)」があります。この制度を利用して発電された再生可能エネルギー(太陽光、バイオマス等)の電気のことです。  
※2 コープこうべがこの電気を調達する費用の一部は、コープこうべの組合員で電気をご利用の方以外の方も、電気をご利用の全ての皆様から集めた賦課金により賄われており、この電気のCO<sub>2</sub>排出量については、火力発電なども含めた全国平均の電気のCO<sub>2</sub>排出量を持った電気として扱われます。

## 再エネ電力をコープの事業所で使用

組合員家庭だけでなく、コープこうべの94事業所にも「コープでんき」を供給。さらに、2020年1月から8つの事業所で使用する電気を再エネ100%に切り替えました。(→2ページ参照)

## 再エネとリサイクルを 組合員と一緒に考えました

組合員や職員が「エネルギー&リサイクル」をテーマに、コープでんきの産地やコープこうべのリサイクルセンターを訪問し、見学・学習しました。2019年度は35企画1141人が参加し、学びました。



玉津リサイクルセンター  
見学会の様子

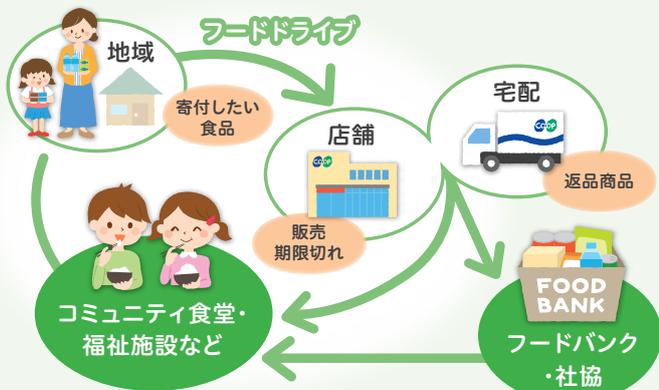
## 食品ロス削減



食品ロスをはじめとする食品廃棄物を、2030年までに半減すべく取り組んでいます。基本的な対策のほか、組合員や地域と力をあわせ、様々な施策がはじまっています。

### フードドライブをはじめとした食を通じた地域支援

「やむなく返品となりお届けできなかった宅配食品」「販売期限切れの店舗食品」「家庭から持ち寄った食品(フードドライブ)」を、フードバンクや子ども食堂などに提供しています。フードドライブを常時受付する店舗は30カ所以上に増えています。



### 「てまえどり」を全店で呼びかけ

誰でも身近にできる食品ロス削減の取り組みとして、期限の近い食品や値引き品を購入する「てまえどり」を、全店で呼びかけています。



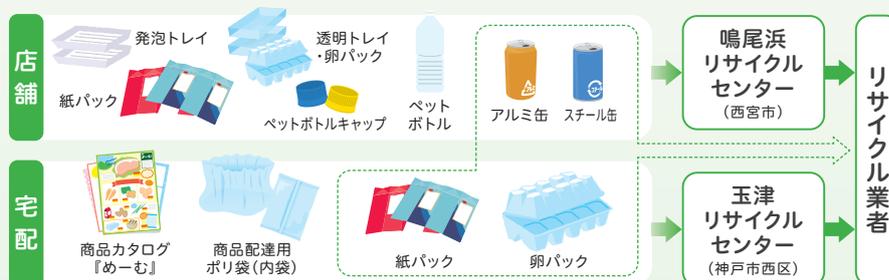
食品リサイクルの拠点  
環境共生型農園  
エコファーム  
(三木市)

40店舗の野菜・肉の加工くずを回収・堆肥化するコープ土づくりセンターと、その堆肥で育てた野菜を再び店舗などに供給する(有)みずほ協同農園が一体となり、食品リサイクルループを構築しています。

## 容器包装の削減とリサイクル



「ものの命を大切に」のキャッチフレーズのもと、コープこうべではごみの削減と資源の有効利用を目的に1990年から牛乳パックのリサイクル回収をスタートしました。現在、店舗では8品目、宅配では4品目を回収。リサイクル作業はおもに子会社の障がい者スタッフが担当し、皆さんの就労支援につながっています。



紙パックのプレス作業

## グリーンダウンプロジェクト



羽毛は水鳥から採取される有限な資源です。需要の高まりに対し、羽毛資源は減少傾向です。約30店舗で不要になった羽毛布団・ダウンジャケットを回収し、再生メーカーで洗浄・精製した後は、再生羽毛(グリーンダウン)として、広く社会で有効利用されています。





## エシカル消費

エシカルとは誰かの笑顔につながるお買い物。「自分のため」はもちろん、「自分以外のため」…そんな気持ちに支えられるエシカル消費。



これまででも、これからもコープこうべは4つの視点をたいせつにします。

### ／ コープこうべの4つの視点 ／

<p>私たちがのお買い物で…</p> <p><b>公正な社会</b>の 仕組みが作り出せたら</p> <p>社会インフラの改善や 社会的公正の実現につながる</p> <p>たとえば</p>  <p>フレンドリーバナナ</p> <p>●働く場を作り、収入の安定や子どもの教育機会を創出</p>	<p>私たちがのお買い物で…</p> <p>豊かな<b>地域</b>を 作り出せたら</p> <p>地域の担い手や生産者の支援、被災地域復興などにつながる</p> <p>たとえば</p>  <p>コープの産直・ひょうご発・「とれびち&amp;とれしやき」</p> <p>●地元の食材を利用することで、一次産業を元気に</p>	<p>私たちがのお買い物で…</p> <p>地球<b>環境</b>を守り続ける ことができたら</p> <p>持続可能な 社会づくりにつながる</p> <p>たとえば</p>  <p>フードプラザ</p> <p>●食べる人、作る人、作る環境に配慮した食べもの作り</p>	<p>私たちがのお買い物で…</p> <p>人々の「生きる」を 支えることができたら</p> <p>くらしの問題の解決や 生きづらさを抱える人たちへの 支援につながる</p> <p>たとえば</p>  <p>●コープこうべの夕食サポート『まいくる』1食あたり0.5円を、「(公財)コープともしびボランティア振興財団」に寄付しています</p>
--	---	---	---

## 食と環境のつながりに着目する学習

SDGsの目標12と14の2つの視点に着目し、連続プログラム「コープトレジャー」を開催し、親子14組30人が参加しました。さらに、豊かな海を取りもどすイベント「虹の仲間て海づくり」「虹の仲間て森づくり」「かいぼり」や兵庫県産野菜をアピールする「兵庫フェア」を季節ごとに特定の店舗で展開するなど、兵庫県漁連やJA全農兵庫と連携して取り組みました。



コープトレジャー「漁師体験」



兵庫フェア



## 里地・里山での体験学習

耕作放棄地が増え、景観や地域の活力低下に危機感をもつ地域の住民が作る協議会と連携し、農業、食べもののことを学びながら地域活性化にもわずかもお役にたてればとスタートした「みんなの牧♥里プロジェクト」(大阪府豊能町)。植付け、収穫イベントのほか、家族やグループで、野菜を育てたり、援農をしたり、竹林整備を行うプログラムなどを展開しています。



## コープこうべ環境基金

コープこうべの創立70周年を記念して、1992年3月に設立されてから、まもなく30周年を迎えます。兵庫県内で自然活動保護の実践・啓発活動や実証的調査・研究を行っている団体を助成しています。

2019年度は「実践活動部門」の25団体に総額300万円を助成しました。

2019年度の助成先はこちら→

